

専攻科生の海外大学へのインターンシップ派遣壮行会

岐阜高専は、平成 24 年以降、包括的な交流協定を結んだ海外大学、および海外企業に専攻科生を派遣し、先方大学の教員の研究室で 3 週間の研究指導等を受ける夏季の“インターンシップ”プログラムを推進しています。平成 27 年度も、JASSO の支援を受けて、インドネシア・バンドン工科大学 3 名、およびマレーシア工科大学、米国・アイオワ大学、ドイツ・ハノーバー大学、ウズベキスタン・トリノ工科大学タシケント校、英国・TYK Ltd. に各 2 名の計 13 名の専攻科 1 年生を派遣します。これは、今年の専攻科 1 年生の約 68%にあたります。このプログラムは双方向的であって、派遣とともにこれらの大学から 16 名を受け入れ、関連の研究室に配属しました。この派遣と受け入れの時期が少しずれていることが、岐阜高専生が海外大学および大学生に目を向ける一層良い機会となっています。岐阜高専は、8 月 5 日に派遣専攻科生の壮行会を催し激励しました。



岐阜高専専攻科生、海外インターンシップへの派遣壮行会。左端、北田校長、右端、羽渕国際交流室長と 12 名の学生。